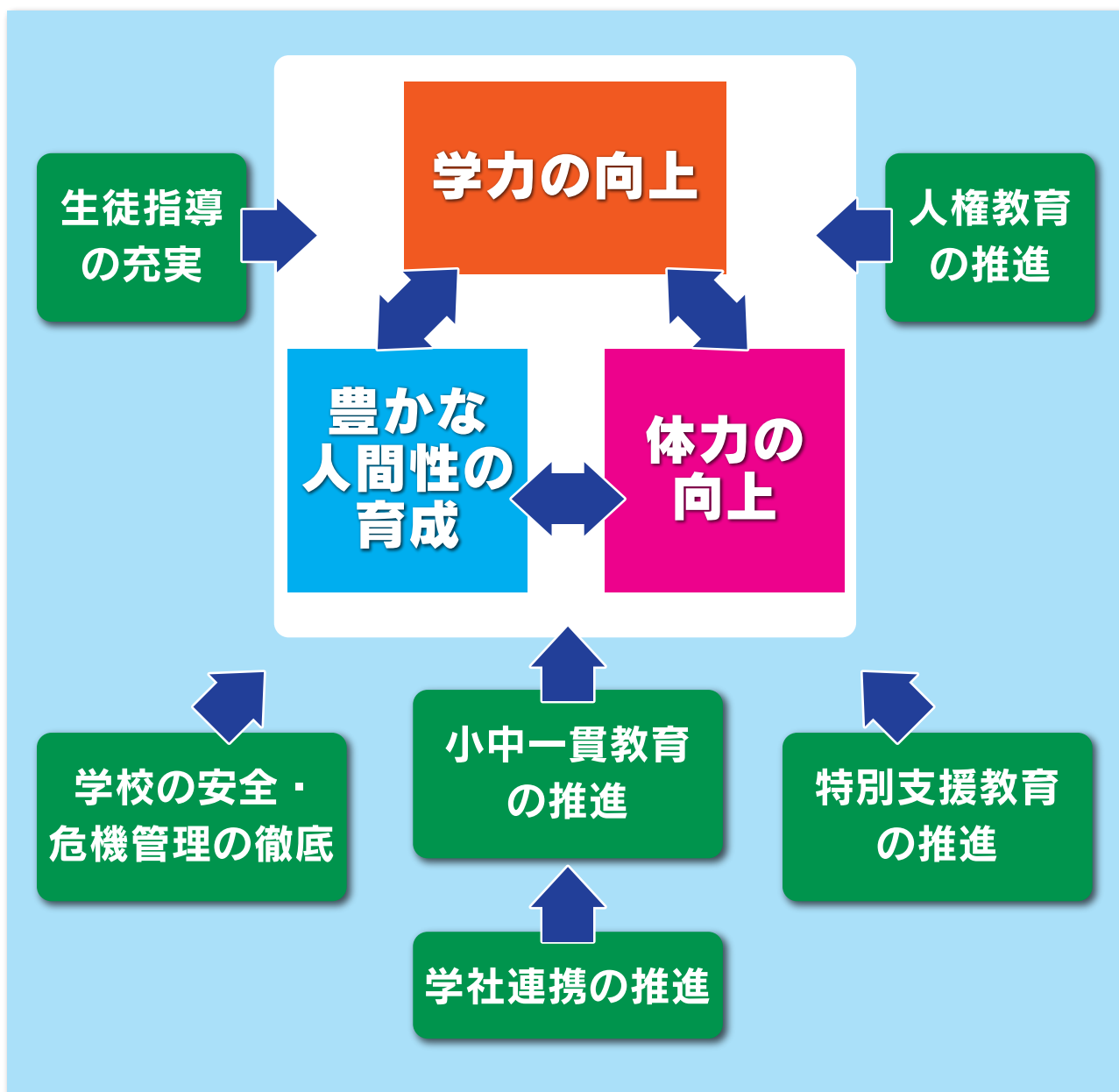


# 飯塚市がめざす教育 No.4

## 飯塚市学校教育プラン



# 飯塚市の教育施策

## 飯塚市がめざす教育

～未来の飯塚市を担う「かしこく」「やさしく」「たくましい」子どもの育成～

未来の飯塚市を担う「かしこく」「やさしく」「たくましい」子どもを育成するため、学力の向上を重点課題に掲げ小中一貫教育の推進を図っていきます。

## 「かしこく」「やさしく」「たくましい」子ども

### 【基本的生活習慣の向上】

#### 生活のきまりの共通化

生活習慣の向上

- ・ 早寝
- ・ 早起き
- ・ 朝ごはん
- ・ 「おはよう」のあいさつ
- ・ 学校生活のきまり共通化

#### 社会性の育成のためのSEL-8Sの推進

具体的な場面で、自分本位の価値観から友達の立場に立って考えることの視点を捉えさせるなど、対人関係に関わるスキル・態度・価値観を身に付ける  
※福岡教育大学  
(小泉令三氏)との連携

#### 後期 中2 中3

#### 自主・自立の態度の育成

自学・自習の態度の育成  
進路目標の実現

#### 中期 小5 小6 中1

前期を土台とした基礎・基本の定着と中学校へのスムーズな接続  
中1ギャップの解消

#### 前期 小1 小2 小3 小4

#### 基礎・基本の反復・定着

学習ルールの習得・学習習慣の定着  
生活ルールの習得・生活習慣の定着

### 【学力の向上の推進】

思考力・創造力を  
育てるジグソー法  
による協調  
学習

※東京大学  
(三宅なほみ氏)  
との連携

基礎・  
基本の定着の  
ための徹底反復学習

※陰山メソッド  
(陰山英男氏)  
小河式プリント  
(小河勝氏)の活用

読みの力を育むための  
多層指導モデルMIM

※国立特別支援教育総合  
研究所(海津亜希子氏)  
との連携

### 【小中一貫教育の推進】

#### 小中一貫教育

- 一貫した学習指導(学習規律、学習意欲、学習習慣)
- 一貫した生徒指導(生活習慣、規範意識)
- 乗り入れ授業(中学校の教員が小学校の教員と協力して授業を行う)
- 小・中学校合同行事の実施(小中が連携した教育活動)
- 中学校区ごとの小中合同研修会の実施(小中教師間の学び合い)

# めざす子どもの育成に向けて

## 小中一貫教育の推進

飯塚市のめざす小中一貫教育は、小学校と中学校が同じ目標のもと義務教育9年間の連続した学びの中で、小中学校教育のそれぞれの良さを活かしながら「かしこく」「やさしく」「たくましい」子どもを育成します。

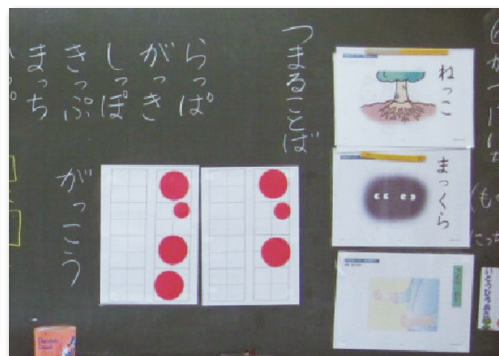
例えば、生活面では「学校のきまりの共通化」や「進んであいさつができる子どもの育成」などの9年間を通した生徒指導の取組を進めています。学習面では不安やつまずきを緩和させるために、小学生の時に学んでいることが中学校のどこにつながっていくのかを意識した上で日々の授業に取り組んでいくなど、学習の連続性を踏まえた指導を行っています。また、中学校の教員が小学校で授業を行う「乗り入れ授業」を実施し、教科の専門性を生かした授業展開や小学生と中学校教員とがつながりをもち小中のギャップを縮める取組を進めています。さらに、小中合同行事の実施により、「中学生は小学生の手本」「小学生は中学生を手本」という意識が芽生えるなど、互いに高め合う効果や自尊感情の向上を図っています。

## 学力向上の推進

学力向上を図るために、MIM、徹底反復学習、協調学習を中心に取り組んでいます。

### ○多層指導モデルMIM(ミム)

入学して間もない前期の子どもたちに「読みの力」を着実に育むため、MIMに取り組んでいます。MIMは、「きつて」「おとうさん」のように小さい文字や伸ばす音を体を使って表現するなど、活動を通して楽しみながら読みの力を育てていきます。習得が困難な子どもがいた場合には、個に応じた指導を行い、すべての子どもの学びを保障するよう努めています。



### ○徹底反復学習

9年間を通して、学校全体で基礎・基本の徹底反復に取り組んでいます。朝の学習や授業の始まりの時間、補充学習、家庭学習等を活用し、漢字の先取り学習や音読計算、百ます計算等を行っています。徹底反復学習の専門家に助言を受け進めてきたことで、基礎的・基本的内容の習得に大変効果のある取組となっています。



### ○協調学習

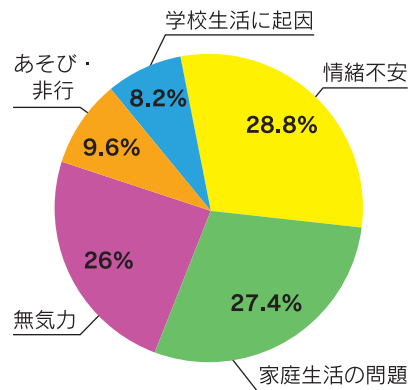
思考力や創造力を育てるため、協調学習の研究に取り組んでいます。協調学習は、学習課題を解決するために、一人一人が自分の考えをもち、友達の考えと比較したり関連づけたりして新しい考えをつくり出します。この学習方法は、一人一人の考えを活かしながら問題を解決する手法であり、学習者である全ての児童生徒が主役となるものです。また、教師の指導力向上にもつながります。



# 大人の力を発揮し、不登校を解消しよう

すべての子どもは、未来を担うかけがえのない存在です。しかし、様々な理由から「登校したくない」「登校したくてもできない」子どもたちがいます。平成25年度飯塚市の不登校を内容別にみると、従来に比べ「あそび・非行型の不登校」は減少し、「情緒不安」や「家庭環境に起因する不登校」、「無気力による不登校」の割合が増加しています。

長期に学校を休むことは、将来、本人の進路実現や社会的自立の妨げとなる可能性があります。不登校解消に向けて、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、不登校児童生徒への支援を進めていきましょう。



## 不登校の状況に応じた支援について

### 不登校の分類

### 支援のポイント

不登校

#### 不安など情緒的混乱型の不登校

不安や緊張により身体の不調などを訴え、登校できない

現在のストレスを軽減させるかわりが必要が必要です。また、スクールカウンセラーを活用することも効果的です。保護者も一人で悩まず、学校や関係機関と連携しましょう。保護者の精神的安定は子どもにも良い影響を与えます。

#### 家庭生活に起因する不登校

家庭環境の急変や家庭生活の様々な問題で登校できない

家庭内の安定を図り、子どもの不安を軽減させることが大切です。早寝・早起き・朝ごはんなどの規則正しい生活習慣に加え、家庭での安らぎが得られるような子どもとのあたたかなかわりを意識しましょう。

#### 無気力型の不登校

ストレスに対して逃避的であり、登校できない。そのことで無気力だと見られやすい

無気力になる要因は、自信がもてずにいることが考えられます。子どもの得意なことを見つけ、子どもが活躍したり、認められたりする経験を積み重ねることが大切です。ほめるかわりを増やし自信をもたせていきましょう。

#### あそび・非行型の不登校

遊ぶためや非行グループに入ったりして登校しない

子どもの立場に立った理解や励まし、時には注意や叱責も必要になります。将来に向けて、今すべきことや社会のルールを守ることの意義などを子どもと向き合って話をしましょう。自分を大切にしよう導くことが大切です。

#### 学校生活に起因する不登校

友人とのトラブルや学習に対する不安などから登校できない

まずは、子どもの話をじっくり聞いて不安や緊張を和らげてください。そして、早期に先生に相談し、安心して登校できるためのサポートをしましょう。子どもの不安解消が再登校への鍵となります。

### 関係機関の連絡先

♥心配なことがあれば、まずはお電話をください。♥

飯塚市教育研究所（飯塚市教育委員会）22-0380（内線 2415）  
飯塚市適応指導教室（不登校支援施設）22-0380（内線 2261）

子どもホットライン（筑豊教育事務所）25-3434  
子育てオアシス（民間不登校支援施設）25-4430